

段ボール使いアート

南三陸の観洋で作品展

南三陸町志津川の南

三陸ホテル観洋で、福島県郡山市のアーティスト遠藤昭三さんによる「ダンボールアート展」が開かれている。

遠藤さんは、東日本大震災による福島第1原発事故で当時住んでいた富岡町を追われ、郡山市で避難所生活をしていた。その時の間仕切りが段ボール箱。

いらだちから、間仕切りが高いなどと怒鳴られたりしたという。

「段ボールに絵を描くことで高さも気にならなくなる。避難所の雰囲気を和ませたい」と、絵を描き、切り貼りしたことが好評となり、段ボールアートが生まれた。

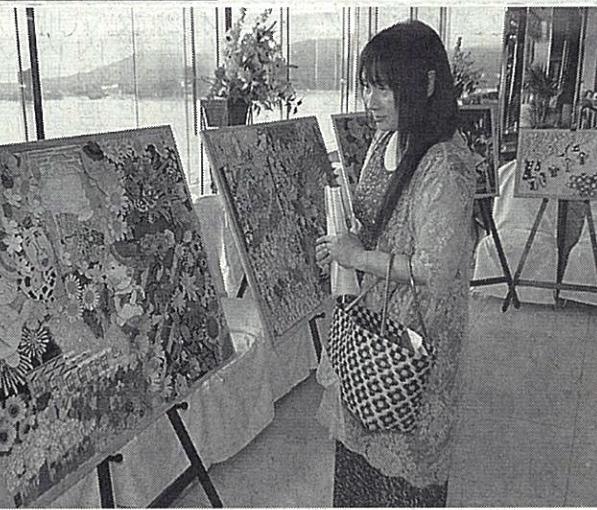
南三陸町志津川の南三陸ホテル観洋で、福島県郡山市のアーティスト遠藤昭三さんによる「ダンボールアート展」が開かれている。

遠藤さんは、東日本大震災による福島第1原発事故で当時住んでいた富岡町を追われ、郡山市で避難所生活をしていた。その時の間仕切りが段ボール箱。

県合庁の直売会

4日、気仙沼

県気仙沼合同庁舎の地場産品臨時直売は、4日前11時30分から1階玄関ホールで行われる。午後1時まで。



段ボールで作った作品に見入る来場者

示されている。訪れた人は「本当に段ボールで作っているの」などと口々に。志津川の遠藤水華里さんは「段ボールで作った作品とは思えない。花びら一枚も段ボールで作っており作品の立体感が何ともいえない迫力がある」と話した。(42)

展示会は4日まで。最終日の4日は午後2時30分から遠藤さんのワークショップがある。小学生から中学生が対象で参加無料。当の15人になり次第締め切る。問い合わせは同ホテル(電話46・24)まで。